

沖縄総合事務局 開発建設部 建設コンサルタント業務審査委員会
議事概要

開催日及び場所		平成23年6月27日(月) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室	
委 員		委員長 原 久夫 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授) 委 員 渡嘉敷 直彦 (琉球大学工学部環境建設工学科 講師) 委 員 下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科)	
対象案件		総件数 2 件	(備考)
建設 コン サル タ ン ト 業 務	一般競争入札(総合 評価落札方式)	件	
	公募型プロポーザル 方式	件	
	簡易公募型プロポー ザル方式	件	
	簡易公募型に準じた プロポーザル方式	2 件	
	標準プロポーザル方 式	件	
	公募型総合評価落札 方式	件	
	簡易公募型総合評価 落札方式	件	
	簡易公募型に準じた 総合評価落札方式	件	
		意 見 ・ 質 問	回 答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の 内容		上記について、発注方式、評価基準、評価結果等の説明を行い、原案通り 了承された。	

(別 紙)

意見・質問	回 答
<p>○事案の審議について</p> <p>1. 簡易公募型に準じたプロポーザル方式</p> <p>1) 平成23年度 災害時港湾活用関連検討業務</p> <ul style="list-style-type: none">○ 入札参加者の審査結果で、満点に対してD社は点数が低いが選定して問題ないか。○ 技術評価の業務理解度について、A社とC社の評価の違いは何か。○ ヒアリングでの評価したポイントを解りやすく提案資料にコメント書きしてください。○ 本業務は、毎年度(継続的)発注されている業務か。○ 前年度までの検討した資料提供はどのように行っているか。 <p>2) 中城湾港泡瀬地区環境整備検討業務</p> <ul style="list-style-type: none">○ この業務に2つの委員会があるが、これは別件発注でなくてもよいのか。○ B社の技術提案書の評価コメントのなかで、「前回」とあるが、どういう意味か。○ 報告書の閲覧について、過年度の報告書を見ないと、どのような検討をしているかわからないのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 参加要件も全て満たしているため、問題ない。・ ヒアリングにより業務の理解度を確認しており、特に「対象港湾の物流特性」を理解しているかの違いがあり、評価差がついた。・ 今後、解りやすく資料を取りまとめる。・ 一昨年から継続的に発注している業務である。・ 入札説明書に閲覧可能及び方法を記載し、特記仕様書に閲覧出来る資料は記載している。・ 内容的に業務検討との関連が強く、また委員との調整などもあるので、一連でやるほうが効率的である。・ 「埋立申請の変更前」が適切である。・ これまで行っている委員会資料は、全てホームページ上にて公表している。また、報告書には詳細が載っている。